

# 古典文学の継承・学習方法について

3年2組13番 齋藤 はる

## 1. はじめに

近年、教育現場で古典学習は必要なのかという議論を度々目にする。2022年から施行される文部科学省の教育指導要領...①によると、「国語総合」が「現代の国語」と「言語文化」に分かれる。それにより全体のうち古文や漢文の占める要素が減るのではないかという懸念によるものも多い。また、古典文学や教育に関する学生の興味の低迷も話題となることもある。では、そのような状況下において古典文学を学び継承する意義はあるのだろうか。また、継承の形式は今のままでも良いのだろうか。そこで本論中では古典を学ぶことの有用性と古典文学継承の新しい形について明らかにする。その為に先行論文や他国の古典継承についての関連研究を調べて検討する。

## 2. 序論

本探究の目的は古典学習を学ぶ意義や古典継承の方法を探ることによって、殆どの高校生が学習するにも関わらず身近に感じることの難しい古典学習をより身近にするための方向性を明らかにすること、それに加えて先人の知恵を次の世代に繋ぐ方法を考察することにある。古典の定義については先行研究の八木 雄一郎氏の「国語科における古典概念の形成過程」を参考に「日常的に使用されている言語文章」という意味での「国語」と対置される概念として用いたい...②

また、今回の研究では「古典」に内包されている「古文」と「漢文」の中でも「古文」領域に限定して考察を行う。研究方法としては主に3つの視点に限定する。1つ目は古典研究の意義について様々な観点から書かれた先行研究を資料とし、疑問点や重なる点を書き出して考察を重ねることにより、より確かな事実として古典学習の意義を明白にする。

2つ目と3つ目は古典文学をより身近に引き継いで行くことに焦点を当てる。具体的には2つ目に古典文学の原文に触れることの入り口として現代で使われている様々な手法の効果や課題点などを資料を集めて考察する。特にアニメーション化や漫画化、ドラマ化などの多面的な方向性からのアプローチによって原作への興味がどのくらい上昇したのかについてインターネットでの検索数や書店での本の売れ行きなどの情報を用いて考察したい。

3つ目は国内外での古典文学を継承する上での教育分野での様々な試みについての資料を集め、古典教育の比重が現象しつつある日本の教育への疑問点やこれからの継承の仕方について日本でも応用できるものが無いのか検討する。

## 3. 本論

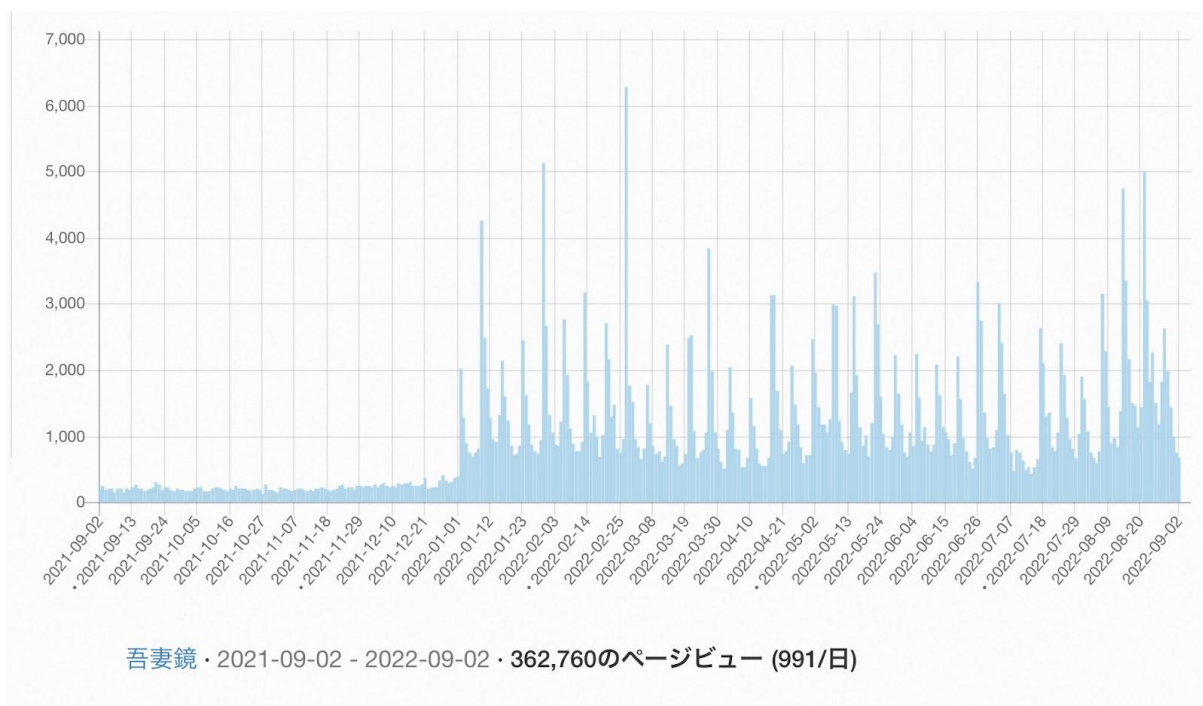
まず初めに大澤由紀氏は古典を学ぶ意義について現在の日本の教育が重視する「学びに向かう力・人間性」と関連づけ歴史的背景や古語などの知識、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに変換する際の思考力・表現力を高める上での教材としての有意性を提唱している...③この主張は古典を学ぶ前にまず古典学習の意義について学習者に討論してもらい、意見をまとめた上で学習を始めることがより効果的な方法だと結論づけている。この研究の類似例として日本学術会議の報告...④では古典の翻訳過程での「異文化理解」の初歩的な部分を学ぶことに触れ、感受性や価値観の養成も含めて総合的な知力基盤の素養が可能なことを利点に挙げている。即ち古典を学ぶことが総合的な語学力の基盤になり、外国語学習等の点に於いても有用であるとの視点からの主張である。

また、浅田孝紀氏は「古典教育の意義に関する一考察」に於いて「言語感覚」を磨く手段としての利点を挙げている。この場合の「言語感覚」とは口語文と文語文の差異を認識し、獲得する能力と定義付けされている。また、「言語感覚」を育成する利点については古典や歴史に関わる書

物を読み解く他にも歌舞伎や能などの文語的表現を使用する言語文化に親しむ糸口としての利点を説いている。…⑤

この3つの先行研究をまとめると、古典学習は国語あるいは他言語との翻訳の基盤として重要で現在の日本語教育が重要視している点を総合的に補うことができることこそが古典教育の意義であり、より効果的に学習するためには授業開始前に学ぶ意義を生徒個人に考えさせる機会を作ることであるとなる。

2つ目の視点については漫画やアニメ、ゲーム化などにより知名度が高まり、舞台となった土地や関連する文化の保全や継承に大きな効果がある例は多くある。近年の例としてはテレビアニメ『鬼滅の刃』の作品モチーフの一つとされる竈門神社では、アニメの放送を機に参拝者数が100倍程に増える効果が報告されて大きな話題となった。このような効果に着目し古典文学をモデルにしたアニメや漫画、ドラマなどのメディア利用による古典への関心の変化を調べた。今回は2022年1月9日に公開された『鎌倉殿の13人』を主題として、ベースとなった『吾妻鏡/東鑑』の関連書籍やネットの検索数の変化に注目する。ネット検索については放送開始前の2021年9月時点でWikipediaの『吾妻鏡』の閲覧数は一カ月区切りで1000件を満たなかったのに対し公開開始後の2022年1月には2000件を超え、3月には6000件を超える閲覧回数となった。…⑥このことからドラマによって原作への関心が高まる効果は文学にも同様にあると言える。



#### ⑥...Wikipediaページビュー解析最終確認日2022-9-30)

また、ベストセラーランキングでは2022年1月10日～16日の時点で文藝春秋の新書欄…⑦、TOHANでは週刊総合ランキング…⑧に『北条氏の時代』や『鎌倉殿の13人ガイドブック』などの吾妻鏡も参考資料に含まれる出版物がランクインするなど書籍の売上にも関連することも分かった。ただし、これらの資料はあくまでも関連資料に含まれるというだけでドラマの特性上も含め時代に注目した作りなので直接的に『吾妻鏡』に注目が集まったと言えるかどうかには疑問が残る。

加えて、『吾妻鏡』自体の現代語訳版など直接的に関わりがある資料の売り上げが上昇したというデータは今の段階では見られていない。そもそも「吾妻鏡」は現代語訳というよりは時代考証として取り上げられることが多く、どこまでを直接的に近とするかのライン引きが難しい背景もある。結論としては原作に興味を持つ糸口としての機能は十分に持っているが原作を読むことに繋げるにはまだ工夫が必要だと考えられる。

3つ目の視点について検討する。ヨーロッパやアメリカなどのラテン語に起源を持つ地域の多くは、日本における古典学習の代わりに言語学習の時間にラテン語やギリシャ語を学ぶ時間を設けている。ただこの例は日本語学習における漢文の学習に近い役割を果たすため今回は詳細を省く。日本での古典の位置付けには英語圏での言語の時間で触れられるシェイクスピアや古典的な詩を学ぶ学習が近いと考えられるためそれらの学習内での工夫について触れることとする。

イギリスでは伝統的に学校の授業として古典に基づく演劇をとり入れる活動がある。…⑨この活動の利点は他人と協力する協働性や公演後の自己肯定感の向上、自己表現活動のあり方を学べることなど幅広いが、古典を学習する手段としても非常に効果的かつ日本でも取り組める現実的な手段であると考えられる。その理由としては劇として古典文学を現代語に翻訳し、演じる上で役を掴むためにただ単に文章を読むよりも筆者や登場人物の意図を考える力が働くからである。また、五感を使うことや他者との交流も含めて記憶に残りやすく、自らの体験として遙か昔に書かれたものであっても身近に感じることができる効果もある。それに加えて、多くの中学校・高校には文化祭などの発表の場があり、授業時間とは別の課外活動の一環としての活動であれば指導要領通りの配分でも濃密な効果が得られると考えられる。仮に文化祭などの行事で発表の機会が無い場合でも、授業内の短い時間で心情を掴みながら読みあうことは通常の音読よりも印象に残り易い。これらの理由から古典を身近に感じつつより深く内容を読み込む手段として、演劇の活用は日本でも取り入れるべき取り組みと考えられる。

#### 4. 結論

結論として、古典を学ぶ意義は古文から現代語訳に翻訳する過程で語学力が培われることに加え、現代では主流な口語的表現を使用した文化だけで無く文語的文化に親しむ糸口になることである。その上で今後どのようにして身近に継承していくのかについてはメディア化によって敷居を下げる他、学校での取り組み方の工夫も有用な案として考えられる。具体的には授業を始める前にまずなにを目的に学ぶのか、どのような意義があるのかについて討論の機会を設けて意識の向上を図る他、演劇を活用して心情描写や舞台となった年代や時代に対する関心を引き上げることなどが挙げられる。今後の課題としては授業外の活動にする場合、指導者の負担が大幅に増える可能性があることが挙げられる。また、2つ目の検討要素であるメディアに関してはデータが不足していることが課題点である。今回調べたのはドラマについてだが、漫画やゲームなどが与える影響も大きいので、その点も踏まえて資料を集めたい。加えて『鎌倉殿の13人』については書店の他にも図書館では北条氏・鎌倉時代に焦点を当てた特別コーナーの設置など工夫を凝らしている館も見られたためその効果についても検証したい。今回のドラマは「吾妻鏡」が基礎になってはいるものの本編で触れられることはないため、実際の物語が本編にも登場する場合との比較の情報も調べてみたい。

#### 5. おわりに

今回の探究を通じて自分の中で古典を学ぶ理由が固まり意欲が向上した。学ぶ意義を考えるだけでも学習に対する関心や真剣度はかなり変容すると考えられるため、これから学び始める学生にはなぜ学ぶのか考える機会を見つけて欲しい。自分は古典を学校で学ぶ機会は残り少ないが、限られた時間を大切に実りあるものにしたい。また、古典文学を読む活動は引き続きつつ図書館でのボランティア活動などを通じて自分からどのような物語があるのかを発信していく活動にも参加したいと思う。

#### 6. 参考文献・出典

①…文科省発行高等学校指導要領(平成30年告示)解説(最終確認日2022-9-30)

[https://www.mext.go.jp/component/a\\_menu/education/micro\\_detail/\\_icsFiles/afieldfile/2019/11/22/1407073\\_02\\_1\\_2.pdf](https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/11/22/1407073_02_1_2.pdf)

- ②...筑波大学審査学位論文(博士)2017 八木 雄一郎(最終確認日2022-9-30)  
<https://tsukuba.repo.nii.ac.jp/records/42632>
- ③...「学ぶ意義を見いだす古典学習指導：「学びに向かう力・人間性等」を育成するために」大澤 由紀  
千葉大学教育学部附属中学校研究紀要 51巻(2021-03-01)(最終日2022-9-30)  
<https://opac.ll.chiba-u.jp/da/curator/109557/>
- ④...提言「古典教育の改善に向けて」日本学術会議言語・文学委員会古典文学と言語分科会 (2020-6-30)(最終確認日2022-9-30)  
<https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/kohyo-24-t290-7-abstract.html>
- ⑤...「古典教育の意義に関する一考察」浅田孝紀  
日本語と日本文学(1992-9-30)(最終確認日2022-9-30)  
<https://cir.nii.ac.jp/crid/1390853649582240256>
- ⑥...Wikipediaページビュー解析(最終確認日2022-9-30)  
<https://pageviews.wmcloud.org/?project=ja.wikipedia.org&platform=all-access&agent=user&redirects=0&start=2021-09-02&end=2022-09-02&pages=吾妻鏡>
- ⑦...文藝春秋BOOKS 2022年1月第2週ベストセラー(最終確認日2022-9-30)  
<https://books.bunshun.jp/articles/-/6907>
- ⑧...TOHAN週間ベストセラー1月18日更新(最終確認日2022-9-30)  
<https://www.tohan.jp/bestsellers/20225.html>
- ⑨...「イギリスにおける演劇教育の歴史と現状」清水豊子  
演劇学論集 日本演劇学会紀要26巻(1998)(最終確認日2022-9-30)  
[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjstr/26/0/26\\_37/\\_article/-char/ja/](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjstr/26/0/26_37/_article/-char/ja/)